

施策評価管理シート

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	5	快適な生活環境づくり	担当部局名	部局長名
	施 策	3	公園・緑地	都市整備部	谷本 浩司

1. 施策の基本方針 Plan

○ ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが安心して利用できる公園整備を進めます。
 ○ 身近な施設である都市公園やダム周辺の親水公園については、地域づくり組織をはじめとする多様な主体と連携して適切な維持管理を行い、快適な憩いの空間確保に取り組みます。
 ○ 住宅地の緑地については、地域づくり組織をはじめとする多様な主体と連携して樹木の適切な手入れを行い、緑地本来の機能である快適な緑の空間を創出します。

2. 現状と課題 Plan

○ 老朽化が進む公園遊具については、計画的に更新・整備を進めていく必要があります。
 ○ 公園や緑地の樹木を適切に手入れしていくためには、新たに安定的な財源を確保していく必要があります。
 ○ 公園施設に対する改善要望が多く寄せられる中で、事業の選択と効果的な事業の推進に取り組むとともに、引き続き地域づくり組織をはじめとする多様な主体と連携して、適切な維持管理に取り組む必要があります。

○施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
水辺や緑とのふれあいに満足している市民の割合（％）	目標	-	-	-	73.0	
	成果	71.8	74.2			100.0%
市内の公園のうち、地域づくり組織等が維持管理をしている割合（％）	目標	-	-	-	80.0	
	成果	80.0	79.4			99.3%
市内の緑地のうち、地域づくり組織等が維持管理をしている件数（件）	目標	-	-	-	50	
	成果	41	42			11.1%

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
・地域の協力を得ながら街区公園等の適正な維持管理に引き続き努めていきます。 ・東山生活環境保全林等の豊かな自然を保全していくと共に、市民参加による森づくりやレクリエーションの場として更に利活用してもらえるよう推進していきます。 ・赤目四十八滝を中心とした赤目室生青山国定公園の環境保全に努めるとともに、「名張市エコツーリズム推進全体構想」に基づきエコツアーの充実に努めるなど、入込客数の増加に向けた取組を進めます。 ・中心市街地を流れ、歴史・文化的な価値を有する築瀬水路の保存に向け、整備を進めます。	・65の地域づくり組織等に街区公園等137の公園を管理業務委託することで、適正な維持管理が行われました。また地域住民が、地域にある公園を維持管理することで公園に対する意識が高まり、交流の場を提供することが出来ました。 ・東山生活環境保全林については、地域づくり組織やボランティア団体等4団体と協働し環境保全林の豊かな自然を守ることが出来ました。 ・赤目四十八滝を中心とした赤目室生青山国定公園については、エコツアー等の企画の充実等により、126万人の観光入込客数を達成することが出来ました。 ・築瀬水路の保全・保存については、水路の浚渫作業や水路敷の支障木伐採作業等に約10,800千円、水路の補修工事に約900千円の費用を充て、維持管理に努めました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

地域づくり組織等による公園及び緑地の管理業務委託については、地域の協力を前提に成立してきたところですが、各住宅団地の高齢化率の上昇に合わせ、現状の質や量を維持しながら地域委託することが困難になりつつあります。
 こうしたなか、いかに管理業務委託の質と量を維持し、地域と協働して適切な維持管理に取り組むことが課題となります。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） Action

地域づくり組織やボランティア団体等と協議しながら、個々の公園・緑地について地域の現状に則した維持管理の水準を定めることで、その質と量を維持し適切な維持管理を継続することが出来る仕組み作りが必要となります。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

公園・緑地の管理については、各地域の現状に合わせ、適正な維持管理に努めること。